

ふくしまの多彩な情報を発信

ふくしまファンクラブ

Fukushima Fan Club

▶ 特集

いわきの復興を牽引する
農と食の体験ファーム

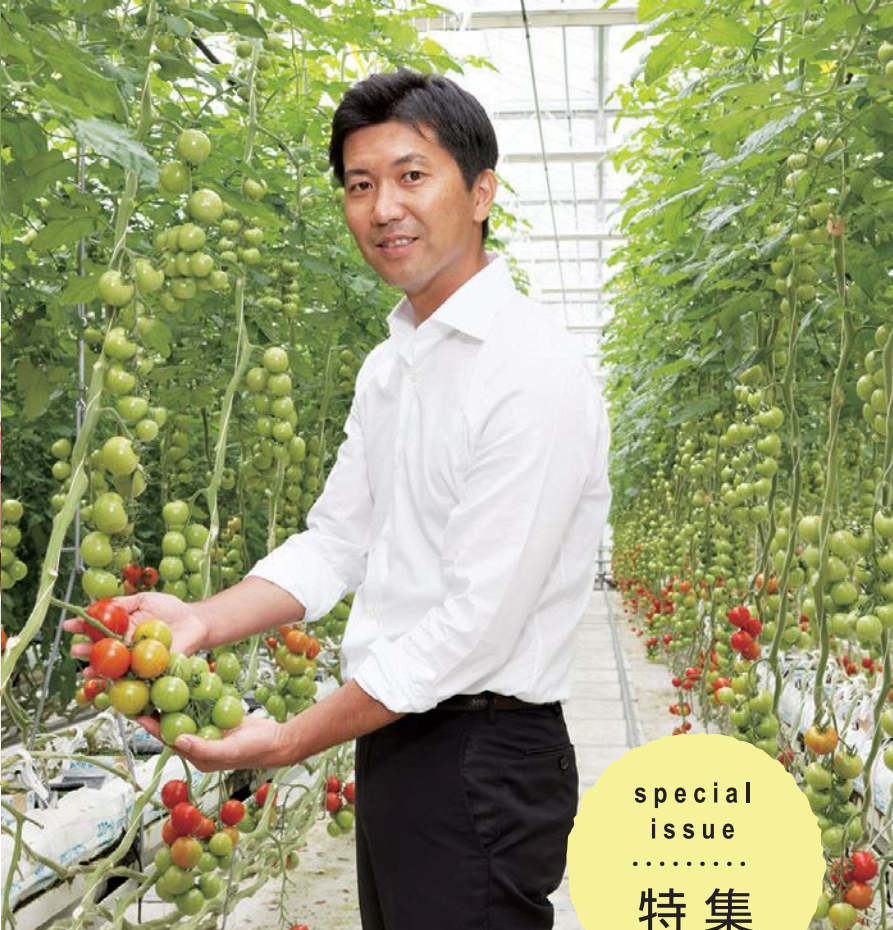
▶ 県民熱愛グルメ

ご当地ソフトクリーム
～会津編～

▶ 福島NEWS

高校生が伝えるふくしま食べる通信





special
issue
.....
特集

1	2
---	---

1. ビュッフェ形式のレストラン「森のキッチン」で味わえるランチメニュー。
2. コンピュータで一元管理されたハウス内で、トマトを栽培している。

いわきの復興を牽引する 農と食の体験ファーム

直売所に楽しさを
プラスして生まれた
トマトのテーマパーク

東日本大震災後、出荷量も価格も低迷が続いた福島県産の農産物。そのような中、農業で地域を復興しようといわき市で平成27年にオープンした「ワンダーファーム」は、2年

目にして年間20万人が訪れ賑わうトマトのテーマパークです。

代表取締役の元木寛もとぎひろしさんは、以前は福島県から上京して都内で働くサラリーマンでした。義父と一緒に農業をやらなかと相談されたのが平成14年。いつか福島に戻ろうと思っていた元木さんは、退職して農業法人「とまとランドいわき」を立ち上げ

ました。それから10年、おいしいトマトの評判が徐々に広がり、直売所に年間10万人が訪れるまでになりました。震災が起きました。客足が途絶え、何万トンものトマトを廃棄する日々。少しでも役に立てればと、避難所へトマトを配布したこともありました。

市場への出荷が再開された頃、直売所にも次第にお客さまが戻り始め、その中には、避難所で食べたトマトの味が忘れられないと話す方もいました。近隣だけでなく遠方からも訪れるお客さまを見て「せっかく足を運んでくれた皆さんにもっともっと楽しい時間を届けたい」と元木さんの想いから、ワンダーファームは生まれました。



可能性あふれるトマトで 地域を元気にしていきたい



ワンダーファーム 代表取締役
元木 寛さん

昭和51年生まれ、福島県双葉郡大熊町出身。福島高専を卒業し、JR東日本の技術職として6年間勤務。平成14年にいわき市に移住し、義父とともに農業法人「とまとランドいわき」を立ち上げる。東日本大震災後、トマトのテーマパーク「ワンダーファーム」を計画し、平成27年にオープン。2年目で20万人が訪れている。



CHECK!

こだわりの一品を
いますぐGET!



ワンダーファーム

検索

住 福島県いわき市
四倉町中島字広町1

問 ワンダーファーム
0246-38-8851

夏休みは
ワンダーファームへGO!



手ぶらでBBQ&トマト狩り、随時受付中!

ワンダーファーム

検索



トマトジュース、ドレッシングなど、こだわりの加工品が人気。

収穫して、食べて、 買い物して、 トマト尽くしの一日

ワンダーファームの5ヘクタールの敷地では、採れたてのトマトや加工品が並ぶ「森のマルシェ」。多彩なトマトのメニューを味わえる「森のキッチン」を中心に、9種類のトマトを収穫できるトマト狩りや採れたて野菜のバーベキューなど、1日を通してゆったりと楽しむことができます。年間を通してさまざまなイベントも行われるほか、森の案

内人が周辺の林道をガイドする散策プログラムもあります。

「ワンダーファームがある場所は、実は数年前まで草が伸び放題の耕作放棄地だったんです。60人以上の地権者の方々に対して、土地を取得するために定期的に説明に通わせていただきました」と元木さんは振り返ります。地権者の同意を得るまで費やした期間は約1年間。計画を必ず実現するという熱意と「とまとランドいわき」の実績が認められ、ようやくスタートライン

に立つことができました。土地の用途が立ってから、認可や補助金の申請、ファンドを利用した資金集めなど奔走する日々：それでも資金が足らずに数億円を借り入れて完成したのが、現在のワンダーファームです。

太陽の光がさんさんと降り注ぐいわき市で育まれるトマトは「サンシャイントマト」と呼ばれ、栄養価が高く味も良いと言われています。「食べるだけでなく、サプリや美容液にもなるなど、まだまだ可能性が広がるトマト。

年間30万人を目標に、一人でも多くのファンを増やし、地域全体で復興できるようにこれからも頑張ります」と笑顔で話す元木さん。

収穫して、味わって、買い物して過ごすトマト尽くしの1日。あなたも採れたてのトマトのようにフレッシュな体験を五感で味わってみませんか。



「森のマルシェ」内には、採れたての野菜や加工品などが並ぶ。

よりの道 ふくしま

YORIMICHI FUKUSHIMA

戊辰150年を迎える会津で 触れて感じる歴史旅

戊辰戦争終結から150周年を迎える節目の年。会津若松市では、さまざまな記念事業やイベントが開催されるなど、大きな盛り上がりを見せています。新たな会津の魅力に触れることができる絶好の機会です。会津若松市で、会津ならではの奥深い歴史や伝統文化を体感してみませんか？



1 鶴ヶ城

難攻不落の名城とうたわれた鶴ヶ城。戊辰戦争では新政府軍と激しい攻防戦を繰り広げた激戦地となりました。

問 会津若松観光ビューロー
0242-27-4005



本丸と二の丸を結ぶ「廊下橋」。かつては敵の矢を防ぐ壁などがあり、屋根も付いていたことがその名の由来。山本八重もこの橋を渡って入城したと言われています。今年約50年ぶりに架け替えられました。



本丸に通じる正面玄関・鉄門は、扉や柱が鉄で覆われていることから名付けられました。戊辰戦争の籠城戦では唯一の安全地帯だったため、松平容保公らはここで指揮をとったと言われています。

県民熱愛♡グルメ

ご当地ソフトクリーム

福島県内には、ご当地の特産物を使用したり、観光名所にちなんだ珍しいソフトクリームがたくさんあります。今回は会津地方の色とりどりのソフトクリームをご紹介します！①喜多方ラーメンにちなんだ喜多方ラーメンソフトは、しょうゆ味が利いている斬新さで人気を呼んでいます。②五色沼ソフトは、毘沙門沼の鮮やかな瑠璃色をイメージしており、ほんのり塩味でさっぱりとしたいただけます。③金山町の赤カボチャソフトは、町特産の赤カボチャのパウダーが練り込まれており、カボチャの自然な甘みが味わえます。④桐炭ソフトは、チョコレートに桐の里ニニ島の桐炭が練り込まれていて見た目は真っ黒！その見た目に反して甘さは控えめです。それぞれに特色のあるご当地ソフトクリーム。お近くにお立ち寄りの際はぜひご賞味ください。



①喜多方ラーメンソフト



②五色沼ソフト



③赤カボチャソフト



④桐炭ソフト

ご当地ソフトクリームはこちらで購入できます！

①喜多方ラーメン神社&ラーメンミュージアム(喜多方市)②五色荘売店(北塩原村)③道の駅奥会津かねやま(金山町)④道の駅尾瀬街道みしま宿(三島町)



レトロな会津の町なかをぶらり散策

城下町の風情が色濃く残る会津若松市は、ゆつくり散策するのがおすすめ。鶴ヶ城の近くの「香寿庵」では、福島県オリジナルそば品種「会津のかおり」を使用した自家製粉の十割そばを堪能できます。江戸時代創業の老舗菓子店「本家長門屋」には、伝統的な会津菓子が並び、お土産品にも◎。会津壹番館では淹れたての自家焙煎コーヒーや手作りケーキなどを楽しめます。町の風情に浸りながら、レトロな魅力たっぷりのお店巡りを楽しんでみましょう。



◀ Fly Me to The Moon 羊羹ファンタジア

3 本家 長門屋

明治初期頃に食べられていた滋養パンをはじめ、昔ながらの味を大事にしながらも、羊羹ファンタジアなど時代にマッチした新しい和菓子も生み出しています。

問 本家 長門屋 0242-27-1358



▲ 滋養パン



2 蕎麦 香寿庵

こだわりの会津蕎麦を堪能できます。一番人気は天ざるそばで、ほかにも高遠そばやソースカツ丼など会津ならではのメニューも味わえます。

問 蕎麦 香寿庵 0242-26-8484

4 会津壹番館

野口英世が手の手術を受けた病院の建物が今も残ります。1階は昭和の雰囲気漂う喫茶店で、2階が資料館になっています。

問 会津壹番館 0242-27-3750



淹れたてのコーヒーと手作りケーキで至福のひとつとき /



YORIMICHI MAP

Let's GO! /

4 会津壹番館

2 蕎麦 香寿庵

3 本家 長門屋

1 鶴ヶ城

ほっこり湯めぐり

幻の「天然サイダー温泉」

サイダーのしゅわしゅわの炭酸に包まれるように入浴できる温泉が、金山町にあります。天然サイダー温泉は大量の炭酸が溶け込む高濃度炭酸泉で、日本ではわずか0.6%しか存在しない貴重な泉質です。また一般的に炭酸泉は36℃以下が多いところ、金山町は全国的にも希少な40℃前後の温かさを保っています。指先までぽかぽか、お肌もすべすべになる天然サイダー温泉は、金山町の日帰り温泉施設「せせらぎ荘」にて100%源泉かけ流しで堪能できます。



このしゅわしゅわが全身を包み込みます!

金山町に湧き出る天然の炭酸水をつめた「奥会津金山天然炭酸の水」はオンラインショップでも購入できます。
<http://www.aizu-tansansui-shop.com>

問 奥会津金山町せせらぎ荘 0241-54-2830



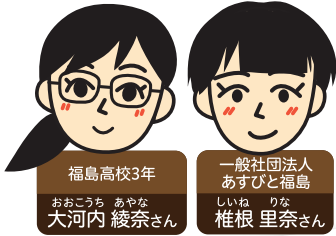
福島NEWS

第13回
高校生が伝える
ふくしま食べる通信
(福島全域)



取材担当
ミネ

県内の注目情報を紹介する“福島NEWS”
今回は「高校生が伝えるふくしま食べる通信」のお話を伺いました。



福島高校3年
おおこうち あやな
大河内 綾奈さん

一般社団法人
あすびと福島
しいな りな
椎根 里奈さん



取材先の選定や
取材も高校生が
行っているんですか？

私たちの団体が開催している
高校生向けの社会起業塾で、
高校生から『震災後、
福島の食が誤解されている
ことが悔しい』という意見が
出たことがきっかけでした。

高校生が主体で
やっているんですね！
でもどうして高校生が？

食べる通信は食材付きの
情報誌で、日本各地で37団体が
発行しています。
高校生が主体となっているのは、
全国でも私たちだけなんですよ！

さっそく
椎根さんに質問！
そもそも「食べる通信」
って何ですか？

はい。毎号編集会議を開いて、
紹介する生産者の調査、
ページ構成と担当決め、
取材と撮影、原稿作成などを
高校生が行っています。



その課題を解決するために、
生産者の想いを通して
食の裏側を伝えられる
食べる通信に取り組むこと
にしました。

※5月31日時点



ドン!

取材を通して農作物の話だけ
でなく、生産者の人柄を直に感じ
られたときはやりがいを感じました。
リアルな生産現場の様子や、
生産者の想いが
読み手に伝われば嬉しいです。

編集長を
やってみて
どうでしたか？



佐々木さんの方から、
私宛にSNSを通じて連絡を
いただいたんです。そこから牧場の
見学や座談会で仲良くなつて、
取材が実現しました。

特集で福島市の
ささき牧場さんを
紹介しようと思った
理由は何ですか？

最新号で編集長を務めた
大河内さんにも質問！



ぜひお購読
ください！
よろしくお願いします！

気になった方は
定期購読されて
いるんですか？

今後は、読者と
生産者が直接
会えるイベントも
企画しています。



バーン!

北海道から沖縄まで、
全国に約750人います。
関東圏の方が多いですが、
福島の方も徐々に増えてきていますね。

どのくらいの方が
定期購読されて
いるんですか？

CHECK!

情報誌と食材をお届けします!

定期購読を申し込むと、高校生たちがまとめた情報誌と
その食材が、季節に合わせて年4回届きます。生産者が想
いを込めて育てた食材を味わいながら、生産現場の今を感
じてみませんか？ 定期購読の申し込みは以下のURLまで。

ふくしま食べる通信 検索
<https://taberu.me/subscribe/koufuku/>

今回お話を聞いた団体はこちら

高校生が伝えるふくしま食べる通信

一般社団法人あすびと福島が運営する高校生向けオープンスクール「あすびと塾」
から始まった事業。高校生が福島県の農産物の魅力を発信しています。

住 東京都港区芝浦3-20-10 岩本ビル4階

問 一般社団法人あすびと福島 東京事務所 03-3456-0407

ふくしま食べる通信 検索 koufuku@taberu.me

福島全域



FUKUSHIMA LIFE
**ふくしまの
 暮らし体験**



県北地方振興局
 移住コーディネーター
 さとう ようこ
佐藤 陽子さん

県北地方は農業が盛んで、何人もの移住者が県の農業研究施設で果樹栽培などを学んで就農しています。商工業も盛んで、求人数も県内上位です。福島県北で働きたい方、相談を受け付けています。

Eメール
 sato_yoko_01@pref.fukushima.lg.jp
問 024-521-2657

桃やりんご、梨などの果樹栽培が盛んな福島市では、市内の宿に泊まりながら、桃の収穫などが体験できる2泊3日の農業体験ツアーができます。少人数での開催なので、農家の方とじっくり交流できるのが魅力です。福島市は交通アクセスも良く、首都圏からは新幹線で約90分。豊かな自然に恵まれ、利便性にも優れた福島市の農家暮らしをぜひ体験してください。

移住体験

してみませんか？

福島市

一緒にふくしまの農業を盛り上げていきましょう！



農業体験ツアー受入農家

おおも くみこ おおも のぶお
大友 久美子さん 大友 伸夫さん

CHECK!

果樹農家の暮らしを体験！



[日程] 9月1日(土)~9月3日(月)
[人数] 先着 5名

次回開催

福島市農業体験ツアー

問 福島市市民安全部定住交流課
024-525-3739

これまでの様子



一面、真っ赤に実ったりりんご畑。農家の方と一緒に収穫します！



ツアーでは、福島市の農業や移住の魅力についても解説します。

pickup



福島県アンテナショップ

ミデット

日本橋ふくしま館MIDETTE

東京都中央区日本橋

定住・二地域居住情報コーナーが 新設されました！

昨年末の日本橋ふくしま館MIDETTEのリニューアルオープンに伴い、定住・二地域居住情報コーナーが観光・復興情報コーナーの隣に新設されました。福島県内の移住に関する各種パンフレットや、地域おこし協力隊募集のチラシなど移住に関する情報を入手することができます。興味のある方はぜひお立ち寄りください。

日本橋ふくしま館MIDETTE

問 日本橋ふくしま館MIDETTE
03-6262-3977

Present!

ふくしまファンクラブ・Fukurumカード共通協賛店プレゼント

福のおすそわけ

ワンダーファーム「森のマルシェ」(いわき市)

オリジナルトマトドレッシング 5名様



図 0246-38-8851

ワンダーファーム

特集ページで紹介したワンダーファームから、オリジナルトマトドレッシングをプレゼント。太陽の光をたっぷり浴びて育ったサンシャイントマトを厳選・手摘みし、バジルを加え爽やかな味わいに仕上げています。

検索

お菓子処 桃里庵(福島市)

いもくり佐太郎(6個入り) 3名様



図 024-535-3311

いもくり佐太郎

創業58年の老舗菓子屋。名物の「いもくり佐太郎」は、第26回全国菓子大博覧会にて最高賞の名誉総裁賞を受賞した逸品です。さつま芋のほっくりした甘さと栗の食感が楽しめる心あたたまるスイーツです!

検索

美蕎麦 三城(猪苗代町)

お食事券(1,000円分) 10名様



図 0242-65-2828

三城 猪苗代

4月にリニューアルオープンした「三城」は、こだわりの魚料理や肉料理・自家製手打ちそばから選べる季節替わりのランチがおすすめ。また、会津伝統野菜を使用したサラダバー&惣菜・スープバーも人気です!

検索

応募方法

ハガキまたはメールに必要事項を記入の上、右の宛先までお送りください。抽選で「福のおすそわけ」が当たります。

応募締切 平成30年7月20日(金) 必着

※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。
※お預かりした個人情報、商品の発送や交流会情報などファンクラブに関する以外では使用しません。

Eメール f.fanclub@pref.fukushima.lg.jp

960-8670

福島県地域振興課内
「ふくしまファンクラブ会報46号」
プレゼント係

- 1.ご希望のプレゼント
- 2.気になったコーナー名と感想
- 3.郵便番号・住所
- 4.氏名・年齢・性別
- 5.電話番号
- 6.会員番号

CHECK!

事務局からのお知らせ

information

「チャレンジ!ふくしま創生プロジェクト」
~ふくしまの様々なチャレンジへの応援をお願いします~



福島県では「チャレンジ」を合言葉に、生産者、企業、起業家など、多くの県民があらゆるところで新たな挑戦に取り組んでいます。その取り組みのストーリーを全国に広くお伝えし、志を共にする方々と、共に新しい福島を創っていききたい、そんな思いで「ふくしま復興・創生ファンド」を創りました。成長・飛躍を目指している挑戦者たちの選りすぐりのプロジェクトへの応援、どうぞよろしくお願いたします。

図 福島県商工労働部産業創出課 024-521-7283 [チャレンジ!ふくしま創生プロジェクト](#) 検索

今月号の表紙

布引高原のひまわり / 郡山市



標高約1,000メートルにある絶景スポットで、風力発電用の風車が風を受けゆっくりと回ります。一面に広がるヒマワリ畑は、8月中旬から9月上旬が見頃。8/26(日)には「郡山布引風の高原まつり」が開催されます。

(お願い) インターネットをご利用いただける方は、「利便性向上」や「環境保全」の観点からメール会員への移行をお勧めしています。会報誌をWebでご案内させていただくほか、毎月のメルマガにより旬な情報を得ることができます。(会報誌の発送は無くなります。)
移行希望の方は f.fanclub@pref.fukushima.lg.jp までご連絡ください。

編集・発行 福島ファンクラブ事務局 2018年6月発行
〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16 福島県地域振興課
TEL:024-521-8023 FAX:024-521-7912

ふくしまファンクラブ

検索

ふくしまファンクラブ会員数 16,671人
(2018.5.31現在)

